

「世界で活躍できる研究者育成プログラム総合支援事業」

研究者のための+αシリーズ

Seminar/Workshop Series
for Researcher Professional Development

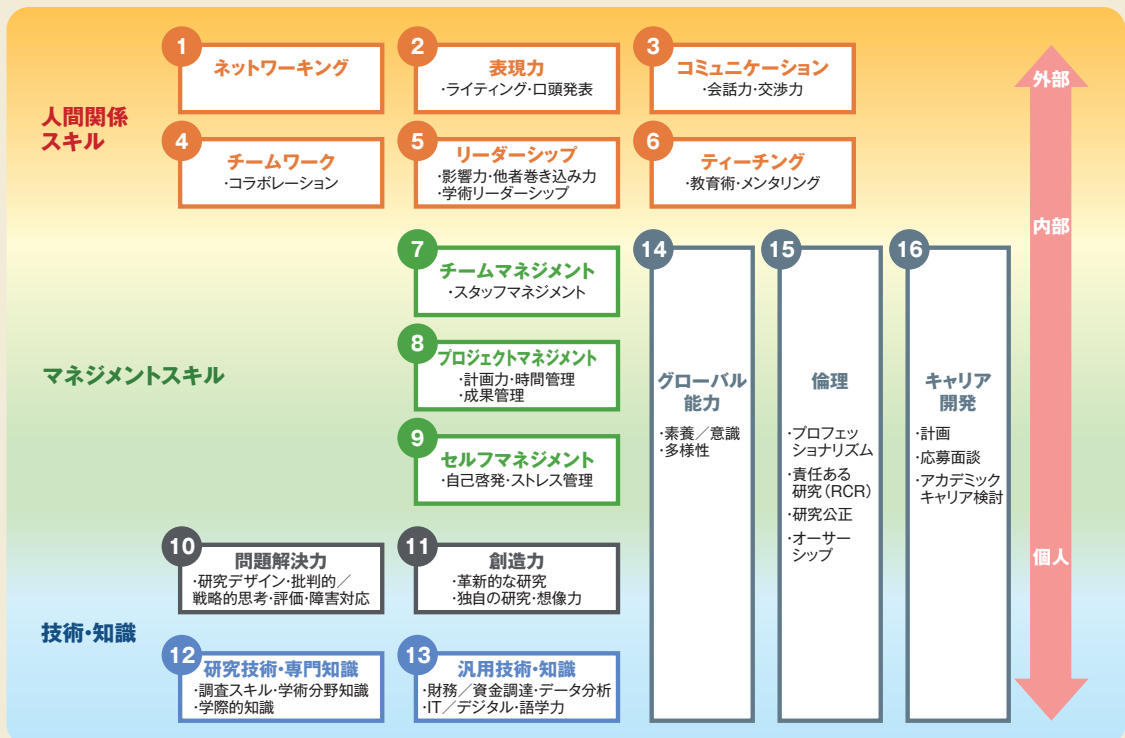


研究者のための+αシリーズとは

世界に影響を与えるような研究を行うには、研究者が突出した専門知識や技術を極めるだけでなく、**長い研究キャリアのなかで研究に付随するさまざまな能力についても高めていくことが重要です。**プロジェクトの管理術やリーダー論、コミュニケーションの工夫、ネットワーキングの戦略、そしてキャリア向上に向けた自己管理などが、**研究の発展性に大きく影響するためです。**

しかしこれらの能力開発についての知識を体系的に学ぶ機会は少なく、所属する研究室や学術コミュニティによって学びに差がありました。そこで、JSTでは、2020年10月より「研究者のための+αシリーズ」を開講し、研究者の能力開発に向けたセミナーやワークショップを、全国のあらゆる分野、あらゆるキャリア層の研究者がご利用になれるよう、オンラインで提供しています。

「研究者のための+αシリーズ」は、世界で活躍するための行動様式や考え方について、下図の16のコンピテンシーを涵養する学びに重点を置き、飛躍の可能性をより高めたい研究者の皆さまにとって役に立つシリーズをお届けしていきます。受講料は無料です。



研究者のための+αシリーズ 講座一覧 (令和2~3年度)

開催日/講座タイトル/講師	人間関係スキル						マネジメントスキル			技術・知識			⑭グローバル能力	⑮倫理	⑯キャリア開発	
	①ネットワーキング	②表現力	③コミュニケーション	④チームワーク	⑤リーダーシップ	⑥ティーチング	⑦チームマネジメント	⑧プロジェクトマネジメント	⑨セルフマネジメント	⑩問題解決力	⑪創造力	⑫研究技術専門知識				⑬汎用技術知識
2020年10月12日 Vol1 What is Researcher Development? —英国Vitaeがすすめる研究者職能開発の取り組みとは— Janet Metcalfe, Katie Wheat (英国 Vitae)																●
2020年11月12日 Vol2 Professional Development Planning for Researchers —5年後の自分と研究にむけて— Tori Helmer (英国 Vitae)								●								●
2021年2月1日 Vol3 The Benefits of Professional and Career Development for Researchers —研究者のポテンシャルを映し出すRDF— Janet Metcalfe, Kate Jones (英国 Vitae)								●								●
2021年2月22日 Vol4 Professional Development Planning for Researchers —研究ネットワークを広げるには— Jen Allanson (英国 Vitae, Skillfluence)	●															●
2021年3月18日 Vol5 Develop Your Niche Over the World —研究者発ベンチャー起業のマインドセット— 各務茂夫(東京大学)、中村友哉(株式会社アクセルスペース)、石山洸(株式会社エクサウィザーズ)	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●		●	●		
2021年5月27日 Vol6 The Importance of Career Development for Researchers —研究者が就活するうえで心得るべきこととは— Janet Metcalfe, Katie Wheat (英国 Vitae)	●							●								●
2021年7月16日 Vol7 Managing Your Career for Researchers —あなたの価値観とモチベーションを振り返る— Daniela Bultoc (英国 Vitae)								●								●
2021年8月13日 Vol8 Pitch Presentation Skills —あなたの研究ストーリーを英語で相手にパッと伝えるコツ—(仮題) Ron Read (HGC社)		●										●	●			
2021年9月10日 Vol9 Thinking while Acting —研究者の問題解決術—(仮題) 島岡要(三重大学)			●			●	●	●	●	●				●	●	
2021年11月12日 Vol10 Socializing and Networking at Academic Events —国際学会の懇親会をフル活用する—(仮題) Ron Read (HGC社)	●		●													
2022年1月17日 Vol11 アカデミアの研究と社会的価値の創造(仮題) 各務茂夫(東京大学)	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●				●	
2021年3月(予定) Vol12 未定 —																

本事業のメールマガジン登録者には各講座の案内をメールでお届けしております。
登録をご希望の場合は、下記URLまたは右QRコードよりアクセスしてください。
https://form.jst.go.jp/enquetes/sekai_ML

